

## 教育委員会 川滝

1. 千葉・三重の2カ所で教育セミナーを行った。
2. 各地域で連続的に遠隔通信と教育セミナーを行っていきたいが、各地域の受け皿の整備が必要であり、今後は神奈川こどもを具体例として北海道・名古屋・千葉などに受け皿を作っていく。同時にインターネットや教育ソフトを使用した教育プランを進めていく。
3. HPで活動予定を掲載していく。
4. E learningを進めていく事となった。

## 学術委員会（堀米）

1. 胎児心エコー検査ガイドライン」のUpdate
2. 胎児心機能評価項目を補足して、Secondary PublicationとしてPediatric Internationalへの投稿を準備する。
3. 特定の胎児心臓病・不整脈についての全国実態調査
4. 胎児期からの管理が生命予後を左右する重症心疾患・胎児不整脈について、本学会員が所属する全国の施設を対象として後方視的調査を行い、診断、管理状況、予後について実態を把握する。（調査対象疾患案：母体自己抗体関連の先天性房室ブロック、重症大動脈弁狭窄症、Ebstein病）
5. 年1回の学術集会において、「里見賞」の募集、審査業務を担当する。

## 胎児治療検討委員会（左合）

平成25年度 → 胎児心カテーテル治療体制の準備

1. 実際の施行施設を見学し、胎児心カテーテル治療施行するための体制を整備する。9月15-21日 リンツ大学（オーストリア）を訪問し、胎児心カテーテル治療プログラムを見学する（安河内、賀藤、左合）
2. 日本で胎児心カテーテル治療を行うにあたり、研究プロトコルを作成する。（研究プロトコル作成にあたり、適応疾患、施行体制などを多施設の専門家で検討する。12月から2月）

平成26年度 → 胎児心カテーテル治療の実施にむけて

1. 胎児心カテーテル治療の早期安全性試験を倫理委員会に申請（平成26年度前半）
2. 胎児心カテーテル治療の早期安全性試験の症例登録を開始する（平成26年度後半）

### 広報委員会（松井）

1. HPのUpdateを全面的に行なった（専門施設表示の改善、英語版HP開設を含む）。
2. 会員ページと胎児心エコー全国登録をHPを通じて行なえる様にUpgradeしていく予定。

### データベース委員会（瀧間）

1. 胎児心臓超音波検査の登録制度の更新について
  - I. 胎児心臓超音波検査の登録制度の規約の策定を行った
  - II. 胎児心臓超音波検査は、今年度からホームページ上でこれまですべての記録の公表を開始。
  - III. 登録方法は、現在のExcelもしくはファイルメーカーによるまとめて登録を施行中、一例ずつの登録は会員登録とリンクする方向(2013年12月以降)。
2. 登録データの集計と学会員への報告
  - I. 年一回の集計 → HPで公開
3. 日本小児循環器学会データベースなど他学会のデータベースとの連携
  - I. 日本小児循環器学会データベースは停止中。
  - II. 他学会との連携、オンラインデータベースとの連携は、メリットがあるとは思えない。まず本学会の登録数を増やす。
  - III. 学会報告  
本胎児心臓病学術集会総会は毎年（瀧間）、日本小児循環器学会、日本超音波学会、（梶野、瀧間）、新生児関連学会（新生児専門医の幹事）産婦人科学会（亀井）などへは隔年施行の予定。